



## 大阪産業大学校友会会報

## Contents

校友会総会ほか	2~5
シルクロード横断プロジェクト	6~7
学園だより	8~9
校友ぶらざ	10~11
支部レポート	12~15
私たち、がんばりました	16~17
校友会からのお知らせ	18~19



**大学開学40周年記念事業  
シルクロード横断プロジェクト  
平成17年度総会・校友会設立35周年懇親パーティ開催**

第70号  
2006・春

## 平成17年度校友会総会 校友会設立35周年記念懇親パーティ 大学開学40周年記念祝賀会 開催

平成17年11月6日(日)  
大学中央キャンパス内  
「校友の杜」

平成17年度校友会総会・懇親パーティは、11月6日(日)大学祭(11月3日(木・祝)~6日(日))で賑わう中央キャンパス内「校友の杜」にて開催されました。今年度は校友会設立35周年の記念すべき年にあたり、当日は雨天にもかかわらず多くの校友が母校に集い、校友会総会・懇親パーティならびに大学開学40周年記念祝賀会が盛大に執り行われました。

### 校友会総会

美内会長挨拶、代議員会報告のあと、長年にわたって校友会活動を勤めていただいた方々30名の表彰が行われました。また、10年続けて支部総会を開催している6支部に表彰状が授与されました。(表彰の詳細は3ページ参照)  
総会の司会進行は坂本達彦幹事(S55機械)でした。



### 懇親パーティ

総会に引き続き、大型テント内で大学開学40周年記念祝賀会と合同で懇親パーティが行われました。大学からは瀬島順一郎学長、校友会からは美内会長挨拶のあと、来賓の古谷七五三次理事長より祝辞をいただきました。そして、村田陽行相談役の乾杯発声のち、懇親パーティに移りました。

懇親パーティでは前回、好評だった支部物産テントが今年も出店。昨年に引き続き10支部と今回新たに5支部が加わり、会場を大いに盛り上げてくれました。(詳細は5ページ参照)

総参加者600名を超える盛大なパーティの締めくくりは、笑福亭三喬師匠の絶妙の司会による恒例の支部特産品福引き大会が行われ、宴のひとときも幕となりました。



### 第56回代議員会

平成17年11月5日(土)  
「石切温泉ホテルセイリュウ」にて開催

大学開学40周年記念式典と大学祭に合わせて、昨年同様、総会・懇親パーティが大学で催されることから、代議員会はその前日に開催されました。出席128名、委任状26名、欠席12名。ほかにオブザーバーとして会計幹事3名、支部役員3名、相談役1名の出席で行われました。

司会は石田秀雄氏(S44短自)。議事に先立ち物故者への黙祷が捧げられました。美内会長挨拶のち議事に入り、議長に遠藤誠俊幹事(S47機械)、副議長に芦田正之岡山県支部長(S40交短経・S43経営)が選出されました。

議題は①平成16年度活動報告(加門事務局長)②平成16年度会

計報告(福井会計長)③平成16年度会計監査報告(金住会計幹事)④役員選出規定の一部改正について。

①では事業実施概要、活動報告のほかに平成18年度子女入試出願状況の説明があり、11名が受験予定であることが報告されました。②③では、平成16年4月1日から平成17年3月31日までの一般会計・特別会計の報告があり、会計監査報告のあと、拍手で承認されました。④では長年勤めた支部長を退任された方が、代議員となる特別措置について、現在の対象者が3名であることなどが報告され、質議応答のあと拍手で承認されました。(規定については18ページ参照)





総会・懇親パーティ会場の  
大テント



エイサー踊り(沖縄県)

30年表彰を受ける光岡前会長(右)

## 第19回支部長会

平成17年11月5日(土)  
「石切温泉ホテルセイリュウ」  
にて開催

代議員会に先立って支部長会が行われました。司会進行は梅木副会長。今回は翌6日に行われる懇親パーティでの支部物産テント出店に関する連絡事項の確認が主な内容でした。

### 永年表彰(敬称略)

#### ●30年以上

光岡 明弘  
(S40交短自・S43機械)

#### ●20年以上~29年以下

里 昇(S27交短運)  
水戸岡博武(S28交短運)  
井村 一憲(S41交短自)  
八幡 建二(S43交機)  
石田 秀雄(S44短自)  
田中 善昭(S45経営)  
金丸 勝春(S46機械Ⅱ)  
遠藤 誠俊(S47機械)  
柴田 栄久(S47経営)  
山本 明(S48経営)

皿屋 匠宏(S49経営)

岩下 光美(S50経営)

高見 新一(S51土木)

吉岡 正澄(S51交機)

岡 護(S53機械)

黒川 啓次(S53機械Ⅱ)

坂本 達彦(S55機械)

吉田 秀雄(S58経営)

兼松 穎(S59機械Ⅱ)

入澤 毅(S50機械)

柴橋 信行(S56機械)

奥田 淳一(S57経営)

松永 和典(S61経営)

徳田 昭彦(S62機械Ⅱ)

海老 智史(H元経営)

#### ●支部表彰

香川県支部

大学支部

大分県支部

大阪北河内支部

鹿児島県支部

埼玉県支部

#### ●10年以上~19年以下

柏葉 昌宏(S38交短自)  
有馬順一郎(S44交機Ⅱ)  
中川 健治(S47経営)  
力石 卓朗(S49機械)

## 大学開学40周年記念式典

大学開学40周年記念式典は、大学祭最終日の11月6日(日)に行われました。式典には大学関係者ら約750人が参加。

式典のあとは、阪神タイガース・シニアディレクターの星野仙一さんを招いて「夢のかじりかけ～今、私が思うこと」をテーマに記念講演会が行われました。続いて片山右京客員教授を迎えて、FM802のニュースなどで活躍中のアナウンサー野崎ひとみさんを聞き手に、「命を懸けたモータースポーツ～失敗恐れず何でも挑戦を」をテーマにトークショーが行われました。

雨が降ったりやんだりして寒い一日でしたが、いずれもたいへん多くの観客が、開場の何時間も前から並ぶほどの大盛況でした。



開学40周年記念式典で式辞を述べる瀬島順一郎学長

## 第57回代議員会

平成18年2月25日(土)

「大阪全日空ホテル」にて開催

司会は奥田淳一幹事(S57経営)。美内会長挨拶のあと役員選出規定改正により新たに選出された代議員3名が紹介された。(18ページで紹介)

議事に入り、議長に有田鋼司幹事(S49

経営)、副議長に石本理大阪市支部長(S44経営)が選出されました。議題は①平成17年度活動報告(小泉副会長)②平成18年度予算について(福井会計長)。審議の後それぞれ拍手で承認されました。

代議員会後の懇親会において、昨年11月大学祭最終日に行われた総会・懇親パーティで準備と運営でお世話になった「大学祭実行委員会」「環境サークルecoっちゃん」の

代表者に感謝状および記念品が、また11ページで紹介された笑福亭三喬さんに「着物一式」の目録が贈呈されました。



### 平成18年度一般会計予算(自H18.4.1~至H19.3.31)

#### ●一般会計

収入の部	一般管理費
本部事務局	
前期繰越金	5,000
事業費	
予備費	
校友会費	81,000
会費収入	1,145
雑収入	450
合計	87,595

収入の部	事業費	(単位:千円)		
総務部	運営部	編集部	支部推進部	合計
12,812	21,834	20,328	14,405	69,379
7,216				7,216
20,028	21,834	20,328	14,405	76,595

支出の部	本部事務局
総務部	12,812
運営部	21,834
編集部	20,328
支部推進部	14,405
会議費	
総会費	
通信費	
印刷費	
会報費	
備品費	
旅費交通費	
慶弔弔慰費	
消耗品費	
記念品費	
助成金	
広報費	
人件費	
雑費	
賃借料	
福利費	
大学祭参加費	
会員住所管理費	
繰越金	
予備費	7,216
合計	76,595
特別会計へ繰入	5,000
特別会計へ繰入	6,000
総合計	87,595

支出の部	事業費	(単位:千円)		
総務部	運営部	編集部	支部推進部	合計
2,840	3,720	480	1,580	8,620
	5,650			5,650
810	120		20	950
290	320		50	660
		19,358		19,358
200				200
1,370	3,290	440	3,110	8,210
1,650				1,650
400				400
	5,684	0	270	5,954
3,000			9,325	12,325
			0	0
2,770				2,770
550	50	50	50	700
480				480
130				130
300				300
1,022				1,022
7,216				7,216
0				0
20,028	21,834	20,328	14,405	76,595
0				0
0				0
20,028	21,834	20,328	14,405	76,595

#### ●特別会計(財政安定化基金)

収入の部	(単位:千円)
平成16年度繰越金	416,430,531
平成17年度繰入金(16年度一般会計剰余金)	8,262,486
平成17年度繰入金(17年度一般会計予算より)	6,000,000
平成17年度受取利息(見込み)	932,200
平成18年度繰入金(17年度一般会計剰余金見込み)	5,000,000
平成18年度繰入金(18年度一般会計予算案より)	6,000,000
平成18年度受取利息(見込み)	400,000
計	443,025,217

支出の部	(単位:千円)
	0
計	0

## 校友会活動報告

(H17.10.8~H18.1.31)

#### ●平成17年

- 10月 8日(土) 宮崎県支部総会(ホテルマリックス)
- 13日(木) 運営部会(校友会事務室)
- 14日(金) 支部推進部会(校友会事務室)
- 16日(日) 大阪北河内支部総会(大学内・奥田食堂)
- 29日(土) 岡山県支部総会(雅城閣)
  - 幹事会(大学16号館3階会議室)
- 10月30日(日) 大阪中・南河内支部総会(サンヒル柏原)
- 11月 3日(木・祝) 大学祭(阪駒祭)に参加
- ~5日(土) (大学中央キャンパス構内)
  - 第19回支部長会(ホテルセイリュウ)
  - 第56回代議員会(ホテルセイリュウ)
- 6日(日) 平成17年度総会(「校友の杜」)前広場
- 平成17年懇親会(「校友の杜」)前広場
- 10日(木) 編集部会(校友会事務室)
- 18日(金) 支部推進部会(校友会事務室)
- 19日(土) 総務部会(校友会事務室)
  - 鹿児島県支部総会(知覧町さくら館)
- 20日(日) 埼玉県支部総会(東京ベイクリーズ)
- 21日(月) 運営部会(校友会事務室)
- 26日(土) 愛媛県支部総会(いよてつ会館)
  - 福岡県支部総会(博多全日空ホテル)
- 12月 3日(土) 正副会長連絡会(梅田サテライト)
  - 幹事会(梅田サテライト)
- 13日(火) 編集部会(よ志幸)
- 18日(土) 支部推進部会(平蔵)

#### ●平成18年

- 1月15日(日) 大阪日産モーター支部総会
  - (大阪厚生年金会館)
- 21日(土) 幹事会(割烹「日本」宗右衛門町店)

# 校友会 「支部物産展」

懇親パーティ並びに大学開学40周年記念祝賀会では、大テントを囲むように、15支部から物産品の出店があり、記念すべき祝典に華を添えました。



●大阪北河内支部 その場で杵をつき、手際良く丸められたお餅は3個100円で販売。つきたてのお餅が食べられるとあって、早々に完売するほどの人気でした。



●兵庫県南支部 古民家再生活動の一環で作った炭小屋で生産された炭や、陶芸品、はちみつなどを販売。当日はビオトープで交流のある人間環境学部の在学生も手伝いにきてくれました。

●新潟県支部 新潟の地酒5種類をはじめ、特産のあぶらあげを使った定食は美味しいと好評。また生産者の協力で100%新潟産コシヒカリの新米も安価で提供していました。

●九州ブロックA・B 焼酎、銘酒に加えてゴーヤチャンプルー、めんたいごなど九州グルメも用意。特にラーメンや皿うどんは、雨天で肌寒い中、体が温もると思って完売。また沖縄のエイサーが会場を盛り上げてくれました。

●韓国総同門会 前回は1時間で完売したという珍三キムチが今年も登場。さらに焼肉コーナーはボリュームたっぷりで、校友会会員はじめ在学生も大勢並び、賑わっていました。



●滋賀県支部 滋賀県全域の銘酒を集め、通常の半値で販売。酒の肴にぴったりの琵琶湖の魚や鴨肉、信楽焼きのぐいのみなど、酒の席を盛り上げる特産品が目白押しでした。

●徳島県支部 華麗で粒な阿波踊りは総勢18人が登場。今回も観衆を魅了し、踊り手のリズムにつられて一緒に踊る一幕も。また鳴門金時やわかめも原価で販売、好評でした。

●大阪市支部 昔懐かしいポン菓子やオリジナルダーツは子どもたちにも大人気。温かいしし鍋にも長蛇の列で、家族みんなで楽しめるアットホームな雰囲気のテントでした。

●京都府支部 あぶらとり紙、京漬物、和ろうそくなど、京都ならではの特産が勢揃い。200円でぐいのみを購入すると20種類の地酒が飲み放題になるお得なコーナーも人気でした。



●岡山県支部 人間国宝が焼いた窯を使用した、備前焼きの作品が多数並びました。原価の6割の値段で備前焼きが購入できるため、テントには大勢の人が集まっていました。

●香川県支部 本場・讃岐うどんはえび天入りで、江戸時代のどんぶりに入って1杯200円という安さで大人気。うどん玉6人前と醤油豆のおみやげセットも好評でした。

●兵庫県北支部 台風23号のお見舞いのお礼も兼ねて、水害の記録を展示。また香住の地酒やカニ、豊岡の鞠やコウノトリの紹介など復興の思いがこもったテントでした。

●北海道支部 焼きホタテ、じゃがバター、イクラ丼など、北海道ならではの人気グルメを用意。前回は早くも完売だったことから、今回は商品の数を増やしての出店となりました。

# シルクロード横断プロジェクト(西安～敦煌)

大阪産業大学では開学40周年記念事業として、2005年10月に中国西安交通大学と共同開催により「シルクロード横断プロジェクト」を行いました。今回、この偉業を特集としてご紹介いたします。

## なぜシルクロードなのか？

シルクロードは、大陸を横断する東西文化交流の重要な交易路として中国の発展を支えてきました。そして現在、主要な産業道路として中国の経済発展を支えています。しかしその経済発展は同時に環境破壊を招き、このままでは30年前の日本と同じことを繰り返してしまいます。また、大陸規模での環境破壊は世界的に影響を及ぼしてしまいます。そこで、経済発展と環境保護の両立を担う新技術を広めるため、そして環境意識を高めるための提起として、シルクロードを選んだのです。



## シルクロード横断に向けての準備

異国地であるシルクロード、西安市から敦煌市までの約2000kmの道のりを無事に走破するため、電気自動車(EV)とソーラーカーに多くの改良が加えられました。日本の整備された道路環境と違い、中国では未舗装区間も多くあることから、EV、ソーラーカーとも、悪路対策や砂対策を徹底することでした。まず、EVは毎年四国で開催されているEVラリー仕様のままではシルクロードを走行することはできないので、シルクロード仕様に変更する必要がありました。大きな変更点として、鉛バッテリーから高性能のリチウムイオンバッテリーに換装し長距離走行に対応できるものにし、電源方式の異なる中国で使える充電器を新たに作成しました。次に、ソーラーカーは非常にデリケートな車なので、車自身を傷めないようにする必要がありました。その一つとして、悪路走行時の衝撃を和らげるため低圧タイヤとし、パンク等のトラブルにも対応出来るよう現地でも調達可能なバイク用タイヤを予備として用意しました。また、日本から中国へ船で輸送する際も、コンテナ内にクッション材で振動対策を施し輸送時の振動で車自身を傷めることがないように工夫を施しました。同様に、現地でサポートトラックで輸送する際も、荷室内にクッション材を施し、ソーラーカーを傷めないため細心の注意がはらわれました。準備は車だけではありません。現地ではモーター・ブレーキのメンテナンスを学生達が行うので、出発までのあいだ何度もその練習を行いました。



### ■10月13日 現地到着

10月13日にスタッフ一同は中国入りし、翌日到着するコンテナを引き取り、2日程度準備を済ませスタートを迎えるはずでしたが、コンテナの到着が遅れることが分かり、そしてその到着がいつなのか見当もつかない状態が続き、学生達にはスレスが出来始めました。運送会社に連絡をとり16日にコンテナは無事到着し、手続きの関係で1時間以上ゴタゴタに巻き込まれましたが、コンテナを引き取った後は試運転も兼ねてEVは自走で西安交通大学へ。試運転では特に問題はなく、シルクロードを走破できそうな良好な感触を得ることができました。

### ■16～18日 準備期間

本学から2チーム、西安交通大学から2チーム、上海マイウェイから1チーム、計5チームのエントリー。現地での最終調整も終えて18日にスタートを迎えることが出来たと思った矢先、17日にあった小泉首相の靖国参拝の影響で、中国側からの延期の申し入れがあり現地でデモなどの不安要素があらわれ、あわやプロジェクト中止の危機に立たされてしまいました。

### ■19日 スタート(西安→楊凌)

外交問題と環境問題は別の話。本学の学長、そして現地の学長によつて話し合いは続けられ、日本への理解のある先生方の協力の甲斐もあり、ついにプロジェクトは実行に移されました。しかし、現段階で社会へアピールするのはかえって逆効果になりかねないので、19日夕方静かなスタートがきされました。ソーラーカーは、片山右京客員教授の運転で順調に市内を抜け、高速道路に乗り目的地の楊凌へ。スタートが遅かったこともあり、ソーラーカーにとって初の夜間走行となりました。参加者全員が楊凌に到着したのは、夜の9時を過ぎていました。

### ■20日（楊凌→宝鶏）

午前中は雨の降るなか楊凌市内をパレード。パレード終了後、雨は激しさを増し高速道路の走行は危険との判断になり、次の目的地の宝鶏へはサポートトラックでの移動となりました。午後には宝鶏に到着し、そこでも市内でパレードを行いく人々の声援を受けました。



### ■21日（宝鶏→平涼）

整備された高速道路が無くなり一般道の走行になり、次の目的地までは道路工事が行われており、ソーラーカーが走行するには負担が大きすぎる可能性が出てきました。そこで、工事が行われている道路の下見も兼ねて才原プロジェクトリーダーをはじめとする一行は一足先に甘粛省の蘭州へ向かいましたが、道路の方はとても走行できる状態になく、平涼まではサポートトラックでの移動となりました。またここから先の蘭州からは省が変わるために、通行許可を得なければここでプロジェクトは中断となってしまいます。不安材料でしたが蘭州交通大学の先生方の協力の甲斐もあって通行許可を得ることが出来ました。

### ■22日（平涼→蘭州）

午前中に平涼を出発し、午後には蘭州に到着。蘭州以西は蘭州交通大学のサポートを受けることになり、ここで新たに出発セレモニーを行い、その後、蘭州市内をパレードしました。ここからは本格的なシルクロードとなります。パレード終了後、夜遅くまでEVのバッテリー充電とソーラーカーのメンテナンスが行われました。



### ■23日（蘭州→武威）

蘭州交通大学を出発し、途中標高3000m級の山を超える道はシルクロードへはるばる来た証ともいえるところ。険しい道を乗り越え夕方に武威へ到着しました。この区間ではメディアからの取材があり、環境意識の向上を世界に広く伝えるきっかけとなったことでしょう。

### ■24日（武威→酒泉）

この区間では高速道路と万里の長城が平行する場所があり、地平線が見えるところがあったりと、美しい景観の中を走行することができました。酒泉に到着後車のメンテナンスと充電を行いました。

### ■25日（酒泉→安西）

当初予定の経路は昔ながらのシルクロードともいえる場所で、道が非常に荒れ走行は困難だったため、安西までサポートトラックでの移動となりました。

### ■26日（安西→敦煌）

安西から敦煌までの路面状況もあまり良好ではなかったため、他のチームはサポートトラックでの移動になりましたが、本学のEV、ソーラーカーは自走で走りきることが出来ました。敦煌手前で、参加車5台が隊列を整え、公安先導のもと敦煌市内のゴールに参加者全員無事に到着し、ゴール式典が開催されました。そしてその夜ゴールをたたえるパーティーが行われました。

### ■27日

ゴールもつかの間、午前中、敦煌では有名な莫高窟というところまでパレード。自動車は排気ガスを出すため、世界遺産を保護しているような場所では阻害



される存在ですが、今回持ち込んだ車は排気ガスを出さないEV、そしてクリーンエネルギーのソーラーカーです。胸を張って世界遺産の前にEVとソーラーカーを並べることができました。翌日には日本へコンテナを発送するため、あまり時間もとれず、コンテナに車や荷物を積み込み発送準備に追われました。

### ■28日

日本へ向けコンテナを発送した後、出発までの短い時間のなか、世界遺産の前で記念写真を撮ったり、観光を堪能することができました。

### ■29日 帰国

シルクロード横断プロジェクトを終えて、メンバーは帰国しました。

## プロジェクトを終えて

運転を担当した学生は、自分たちで作り上げてきた車を、日本から遙か遠いシルクロードで実際に運転し、そしてシルクロードを横断するという、今後二度と出来ないであろう経験をすることができました。夜通しメンテナンスを担当した学生、中国からの留学生は通訳としてもプロジェクトに協力してくれました。今回完走に至った背景には、このようにスタッフ全員の協力があったからに違いありません。西安をスタートしてからゴールの敦煌までの道のりでは、問題が起きたときもみんなが「自分がやらないといけない」という本心から同じ方向性を持って協力しあい、諦めずに突き進むことで多くの困難を乗り越えることができました。

今回のプロジェクトでは途中立ち寄った中国の小学校と大東市の小学校を衛星通信で結び、環境問題を題材に国際交流の場を設けることもできました。国や文化の違いを乗り越えて、シルクロード横断を成し遂げた事で、これからを担う両国の学生達や子供達の中に新しい考え方を生んだことだと思います。環境問題には様々な課題があり、今回のプロジェクトだけではまだ十分とは言えませんが、「今出来ること」として地球環境に対する意識を多くの人々に持つもらうためのきっかけとなったことでしょう。（編集部 青山一樹）

### ■片山右京客員教授を交えた

#### 「シルクロード横断プロジェクト」報告会開催



中国大陆の西安から敦煌まで約2000kmをクリーンエネルギー・カーデ走破する「シルクロード横断プロジェクト」の報告会が平成18年1月30日(月)に開催されました。当日は、プロジェクトのドライバーとして活躍された片山右京客員教授を交えて、行われました。(写真右は才原篤プロジェクトリーダー)

## 本学・環境マネジメントシステムのキックオフ宣言式が、12月2日開催

大学独自の環境マネジメントシステム(GM-EMS)のキックオフ宣言式が、12月2日、本館8階会議室で行われました



このGM-EMSは、ISOやその他のEMSを大学に持ち込んでも、上手く当てはまるものが少ないため、大学独自のものを作成し、マニフェ

キックオフ宣言式で、古谷理事長は「EMSは、菅原教授の発案で大学独自のものを作り、社会に貢献できる大学作りができると思います。」と挨拶され、瀬島学長は「このような問題は、全員が同じ意識を持ち機能しなければなりません。大阪府は温暖化防止等に関する条例を施行します。この取り組みをいち早く全学的に広げさせたいと思います。」と語られました。その後、学校法人大阪産業大学環境憲章が、発表されました。

ストを公開して実行しようとするもの。ISO14001をはじめとする既存のEMSに共通の事項を基本としながら、学校教育の場により相応しい仕組みを作ろうとしています。EMSは、基本的に計画(Plan)・実行(Do)・評価(Check)・改善(Act)が循環してより良いものを作るシステムですが、本学のGM-EMSは4部会(環境教育部会、3R部会、グリーン調達部会、地域環境保全部会)に分かれて推進されます。

平成17年度の取り組みは、人間環境学部が中心となり、環境教育部会とグリーン調達部会で実施します。教職員と院生、学生など数名で構成され、外部業者の店舗を除いた14号館と16号館で実施されます。内容は、1.環境側面の特定と環境負荷チェック(今年度は紙の消費量)。2.環境憲章・方針の目的と目標の作成。3.環境憲章・方針への理事長、学長の署名捺印。4.自己宣言の実施などです。

### 基本理念

学校法人大阪産業大学は「人間各自の使命を完全に果たし、それが性を享けた人間の生き甲斐である」とする設立の精神に基づいて、市民としての見識を高め、その成果を社会に還元することを教育の目的と考えています。

また、本学園は、地球環境の保全が21世紀の重要な課題であるとの認識を踏まえ、教職員、学生・生徒をはじめとする本学園の構成員がいいとあって環境保全のための教育・研究に取り組み、学生・生徒の質の高い社会参加へと繋げ、地域社会との連携を図りつつ、持続可能な社会の実現に貢献します。

## 大産大を企業に知っていただくための 「優秀卒業研究発表会」が、平成18年2月3日 リーガロイヤルホテルにて開催

工学部が取組む教育プログラム「大学と地域で築く21世紀型ひとづくり共・育」が文部科学省の2004年度「特色ある大学教育支援プログラム(特色GP)」に採択され、2年が過ぎようとしています。本事業の目的は、産学連携による「ものづくり」を通して、独自性あふれるアントレプレナー型エンジニアの育成を図る取組みです。

この事業の一環として、前年度に引き続き、優秀卒業研究発表会「もうかる"たね"どうですか?」が開催されました。

瀬島学長の開会挨拶に続き、籠谷工学部長から「特色GP」の取組が報告され、続いて「第10回アジア・クロスカントリー・ラリーに挑戦~車輪

の製作からゴールまで」と題して、大阪トヨタ自動車株式会社執行役員の北村喜久雄氏と片山右京客員教授による特別講演が開催されました。

その後、工学部各学科による優秀卒業研究発表会として、それぞれの研究成果が発表されました。

また、懇親交流会では、「旧車のレストアプロジェクト」や「シルクロード横断プロジェクト」が紹介され、学生との交流ディスカッションが行われました。優秀卒業研究発表表彰式では、3組の発表に対し校友会長賞が授与されました。



### 大学の新ロゴマーク決定

大学開学40周年記念行事の一環として、大学の新しいロゴマークが平成17年7月から10月にかけて在学生を対象に公募され、応募76作品から厳正な審査を経て11月6日、開学40周年記念式典で発表されました。この新しいロゴマークは、平成18年4月から使用されます。

優秀賞に選ばれたのは、福嶋久雄さん(機械工学科2回生)の作品。デザインは、無限大を表す∞の記号をモチーフに大阪産業(OSAKA SANGYO)のOとSを組み合わせたもの。

選考委員長の環境デザイン学科・大門敏彦教授(元サントリー株式会社デザイン部長)は、「学生44人から76作品の応募がありました。決定されたマークは、大阪産業大学と学生の未来の可能性を無限大に広げてくれる素晴らしい学び舎であることを象徴し、地球規模で大きくのびやかなマークとしての表現となっています。」と講評されました。



大阪産業大学  
OSAKA SANGYO UNIVERSITY

## 「地域新生コンソーシアム研究開発事業」成功事例に本学のプロジェクトが選ばされました

近畿経済産業局は、平成17年10月25日、「地域新生コンソーシアム研究開発事業」の111件のプロジェクトの内、成功事例として3件を選び、マスメディアに発表しました。

そのひとつに選ばれたプロジェクトは、大学発ベンチャー企業・(株)オーエスユーの『多層セラミックス多孔質体を用いた高温過熱水蒸気発生システムの開発』です。

このプロジェクトは、平成13年に学校法人大阪産業大学が管理法人となり、(株)オーエスユー、積水化学工業(株)、三庄インダストリー(株)、(有)アイセム、(株)パイコーポレーションが共同開発を進めているものです。

従来、過熱水蒸気は200～500℃の間で食品の殺菌洗浄や食品調理加工に利用されてきましたが、近年、ダイオキシンやPCBの分解や食品残渣の乾燥炭化処理に非常に有効なことが確認されました。しかし、従来の「過熱水蒸気発生装置」は非常に大きく扱いにくいものでした。(株)オーエスユーの燃焼合成技術で生み出された「導電性多孔質セラミックス」とセキスイメタル電子(株)の「小型高周波誘導過熱技術」の融合により、小型の超高温過熱水蒸気の開発に成功しました。

### 大学院・経営流通学研究科

#### 経営・流通専攻博士課程設置(課程変更)認可

平成17年6月、文部科学省へ申請していた大学院経営・流通学研究科課程変更認可申請は、同年12月5日付で文部科学大臣より認可されました。これによって、これまでの経営・流通専攻修士課程から博士前期課程(2年)と博士後期課程(3年)の区分制博士課程となり、博士後期課程修了者には「博士(経営学)」の学位が授与されます。

当研究科は、平成11年4月、経営・流通学研究科流通システム専攻として開設され、平成15年4月より「流通システム専攻」から「経営・流通専攻」へと名称変更されました。本学では、このたびの経営・流通専攻博士課程設置を通じて、現在の経済状況における流通・サービス分野での様々な課題に取り組む研究教育の場の実現や産業界への貢献をますます図っていきます。

### 工学部、大学院・工学研究科の

#### 「電気電子」が「電子情報通信」へ名称変更

平成17年6月28日、文部科学省に工学部「電気電子工学科」と大学院・工学研究科「電気電子工学専攻」の名称変更に係る事前相談書類を提出していましたが、7月26日に開催された大学設置・学校法人審議会運営委員会において名称変更が承認されました。これにより、平成18年4月1日から、工学部「電子情報通信工学科」、大学院・工学研究科「電子情報通信工学専攻」となります。

工学部・電気電子工学科は昭和59年の開設、また、大学院・工学研究科・電気電子工学専攻(博士前期課程)も昭和63年設立以来多くの技術者を輩出し、今日の産業社会の発展に大きな貢献を果たしてきました。

今回の名称変更を通じて、従来のカリキュラムを抜本的に見直し、電子・情報・通信分野の基本をしっかりと身につけた学生、優秀な技術者の養成を目指していきます。

この「超高温過熱水蒸気発生装置(SHS850)」は、常用850℃(最高温度1000℃)で時間当たり1～2kgの過熱水蒸気を発生できる小型システムで、このため大学や研究機関、企業などの研究用として導入が進んでいます。さらに、企業からは大型化の希望も多く、現在20kg程度の過熱水蒸気を発生できる装置を開発中だそうです。

交通機械・山田修教授によると、高温過熱水蒸気発生装置は、ダイオキシン分解の分野にも展開をはかっており、またバイオマスの過熱水蒸気によるガス化発電という『21世紀の水素社会(脱化石燃料)』には欠かせない分野として、栗本鐵工所との共同研究を行つており、着実に成果が上がっているそうです。



超高温過熱水蒸気発生装置

### 9番目の大学発ベンチャー企業

#### (有)ライト・クリエーション 誕生

大学院・工学研究科アントレプレナー専攻の長谷川明良さん(2回生)が代表取締役を務める有限会社ライト・クリエーションが、11月22日開催のビジネス・インキュベータ委員会において、本学第9番目となる大学発ベンチャー企業に認定されました。

(有)ライト・クリエーションは、印刷デザインおよび印刷全般を行う業種。主な事業内容は、会社案内・学校案内・ポスター等の企画・編集・製作、商品カタログ・印刷物の製作など。資本金10万円、平成17年5月9日設立、従業員1人、住所は大阪市東成区。

代表取締役の長谷川明良さんは、昭和8年1月生まれの72歳。保育園・小学校・中学校の教員を経て、公立学校長などを経験の後、アントレプレナー専攻の1期生として入学されました。

長谷川さんは「在学中にPBL教育の重要さを体験したことを活かし、企画印刷の一環としてアントレプレナー専攻PBL教育のための教科書や教材づくりを提案させていただき、その成果を社会にアピールしながら当社の事業の優位性を示したい」と語っておられます。

### 名誉教授

平成17年7月22日付で、瀬島学長から、名誉教授の称号が贈られました。(敬称略)

#### 河井 徳治

昭和42年教養部専任講師として就任。昭和52年、教授。教養部長ほか歴任。平成13年4月から人間環境学部教授。

#### 藤原 康晴

昭和41年教養部専任講師として就任。昭和54年、教授に昇任。教養部長ほか歴任。平成17年3月定年退職。



● Sato  
Kouji

### 金属彫刻の作家からデザイナーへ転身 グッドデザイン賞2005を受賞

グッドデザイン賞とは形の美しさだけではなく、品質の良さ、使いやすさ、商品としてのバランスの良さが認められたものに対して与えられるものです。今回は、商品デザイン部門において同賞を受賞し、デザイナーとして幅広く創作活動をしている佐藤浩司さんをご紹介します。

#### 佐藤浩司さん (H5環境デザイン、H7院環境デザイン)

佐藤さんは環境デザイン学科の一期生です。「新しい学科だったので、一浪や二浪の人も含めて志願者が多く、入試は厳しかったですね。そのぶん同級生にはユニークな人がたくさんいて、おもしろかったです。」と当時を振り返ります。

群馬県の実家を離れ、東大阪で一人暮らしをしながら勉学に励む日々の中で、佐藤さんが「表現すること」に対して、貪欲になってきたのは3回生からでした。「実習で実際に物を作るようになってからは、時間も忘れて没頭しました。」

環境デザイン学科卒業後は、大学院へ進学。平成7年には第2回しのばずオブジェフェスティバル読売新聞奨励賞を受賞し、金属彫刻の道を極めています。「大学は自己確立の時期だったように思います。自分の中に幹になるものがあれば、何でもできる。物づくりの世界観を持つようになりました。」

大学院を修了後、佐藤さんは金物工場に就職します。ヤスリのかけ方や溶接など板金加工の技術を身につけて、スキルアップをはかりました。それから装飾金物の工房に移り、働く一方で、本格的に作家活動を展開します。さらに数々のコンテストで入選し、実力が認められます。また、国内での個展をはじめ、デンマークで作品展やワークショップを行うなど、海外にも活動の場を広げました。金属彫刻の作家として順風満帆だった佐藤さん。しかし平成12年、佐藤さんは体調を崩し、創作活動を続けることが困難になりました。「今まで一番辛い時期でした。でも金属から離れても、表現することからは離れたくないと思いました。」これを機に、



彫刻作品  
「discharge.1」(ステンレス・1998年)

佐藤さんは自ら工房にデザイン分野を確立し、インターホンやネームプレートをデザインしてハウスメーカーに飛び込み営業をしたり、次世代カートや電気自動車のデザイン等、デザイナーとして新たな活動の場を開拓したのです。

平成14年(株)アドバンスに入社。インハウスデザイナーとしてバイオ機器や化粧品のデザインに携わります。そして昨年、〈電気泳動装置 MUPID-SCOPE WD〉でグッドデザイン賞を受賞しました。「彫刻とデザインに境目はないと思っています。例えば今回、グッドデザイン賞を受賞した商品も、板金の知識がいきているんですよ。」



〈MUPID-SCOPE WD〉  
蛍光標識されたDNA、タンパク質などの  
生体分野や細胞に紫外線を照射  
して検出、観察、撮影するための装置。

現在、佐藤さんは気泡シートを扱う梱包のトップメーカー、川上産業(株)にインハウスデザイナーとして勤務。ジャパンパッケージデザイン賞を受賞するなど新分野でも才能を発揮しています。「今の会社の社長は僕を信頼してくれているし、僕も社長とは何んでも話しができる。こんな風にいい環境があれば、いいものはできます。」人ととのつながりを大切にしながら、デザインの可能性を見据え、ふたたびGマークを目指す佐藤さんのさらなる活躍を期待します。(編集部 川口 将武)



※Gマーク  
グッドデザイン賞を受賞した商品に付与されるマーク

## 松田直久氏(S51経営) 津市市長に当選！

三重県の県庁所在地である津市は、平成18年1月1日に、旧津市、旧久居市および旧安芸・一志両郡の8町村を含む計10市町村が合併して、新「津市」として新たなスタートを切りました。この合併とともに、2月5日投開票で、新・津市の市長選挙が行われ、校友の松田直久氏（S51 経営）が、当選されました。松田新市長は、平成11年から三重県議会議員として活躍されていました。

## 永瀬忠志氏(S52機械) 「植村直己冒険賞」受賞！

「リヤカーマン」として本誌でも有名な校友・永瀬忠志氏（S52機械）が、2月16日、「植村直己冒険賞」を受賞されました。永瀬氏は、本学在学中に、リヤカーを引いて日本縦断して以来、オーストラリア、アフリカなど、30年にわたって世界中を歩き続け、これまでに歩いた距離は地球1周に相当する4万キロを超えたそうです。「植村賞」は、兵庫県豊岡市主催で、1996年以来毎年、世界の冒険家に贈られています。

## 笑福亭三喬氏（井田達男 S57交機） 「芸術祭優秀賞」「上方お笑い 大賞最優秀技能賞」受賞！

本号でも紹介した総会パーティや支部総会での司会など校友会とかかわりの深い笑福亭三喬さんが、昨年12月「平成17年度文化庁芸術祭の演芸部門で芸術祭優秀賞」、1月「よみうりTV第34回上方お笑い大賞最優秀技能賞」をダブル受賞しました。関西の実力派として活躍しており、6月3日、本学において独演会開催の予定。詳細は大学ホームページに掲載します。

### 特別寄稿



本会の第3代目会長、園和歌山県参事  
帶勳=勲五等・双光旭日章



#### 無くて七癖、あって四十八癖 —コトワザ—

人にはみな、多かれ少なかれ癖はあるものだ。このコトワザでの「無くて七癖」はどうにかうなずけるものの、「あって四十八癖」とは、ちょっと多過ぎる感じがして、首をかしげたくなる。癖とは、元来、人間のもっている片寄った習慣や性格、欠点などを言うものだ。

一方、コトワザなるものは、もともと神が人間に言わせて、吉凶などを諭すためのお詞であるとのいい伝えもあるが、そのいずれもが、いろんな時代の様々な人びとの知恵が生んだ優れた言葉なのである。この見出し後段での「あって四十八癖」との言い回しは、多分、一人がもつ癖の数が最も多い人のことを指しているのではなく、人間が共有するいろいろな癖の種類をトータルした数で示唆したものと思われる。

私が二十代のとき、同僚の数人で合宿をしたり、「今日は誰になんと言われても、絶対に怒らない」という無礼講の約束で、一人ずつをまな板の鯉にして、その者の悪い癖や欠点を言いまくる（批判会）をやったことがある。そしたら、案の定、みんなに皆からのあからさまな発言が次々と飛び出し、針のむしろに座らされている当人はそれに一々反省をするいとまもなく、「人は何時もボクをそんなふうに見ているのか。思っているのか」と。人はこのように、自分のもっている癖や欠点にはおろそかで、むしろ他人のそのことに耳目がひかれるものである。

#### 癖ある馬は、能あり —コトワザ—

このコトワザも、なかなか興味ぶかいものである。私には若いころ乗馬や馬の手入れをした体験があるので、その事実をよく知っている。人間の場合、癖の中にも、あって愛嬌のある癖や、けっこう役にたっている癖、あるいはその人のシンボル・マークとして使われてたりする癖もあって、癖は一概に凡てが悪いものとは決めつけられない。だが、人から「あの人には、あんな悪い癖があるねエ」と、後ろ指をさされるような癖の持主もいるのだ。悪い癖はその人の弱点

ともいえるが、しかし癖はそう簡単におせるものではない。それなれば、いっそ自分の癖は癖としてすなおに自覚して、人に迷惑を及ぼす悪い癖だけは絶対に根絶をし、少々の癖には、内心くじけたり、意気阻喪になってはいけないと思う。

人間は、癖や顔かたちで評価されるものではない。せいぜい自分がもっている得意や長所とするものを武器として、少しずつでもよい、人のために何かをやっていけば、おのずと己の悪い癖や欠点もカバーされ、きっと人に好かれるような人間になることは間違いない。

#### 禍を転じて福となす —コトワザ—

私たちの日常生活で、とんでもない思い違いをしたり、失敗を繰り返したりすることがあるものだ。考えれば、それらの中には案外と気付かない悪い癖がもたらす禍である場合が少くない。とりわけ、日本人がもつ共通の悪い癖—それは、大事なことがらを判断しようとするときに、えてして自分のもっている知識や経験、信念などをもとに考えて、ときには、その自分の考えを正当化しようとして、それに都合のよい安易な情報などに依存したりする。だが、その物ごとの裏側にひそんでいるマイナス面やリスクの有無などにはあまり突っ込んで考えようとはせず、しょせん、真実をつきつめる努力に欠けるのである。人に言われれば、なんでも「そうだ」と思い込む早合点が“先にありき”で、「そうでもない」、「これには何かがあるゾ」とする否定的な立場からの併せ考える働きが極めて弱いのである。日本人には、なぜ、こうも根拠のないことにでも、やすやすと信じ込んでしまう悪い癖があるのだろうか。

いま社会問題となっているような悪徳商法やカルトなど、兎角たくみな口車にのせられないように、また、それらをみんなで撃退していくためにも、この日本人がもつ悪い癖はぜひ直していただきたいのだ。そのことが〈戦国策〉を出典とするこのコトワザが教える「禍にくじけず、逆にその禍を利用して、幸せをしてしまう工夫」の、大きな一つではないかと考える。

# 支部レポート

## 北海道支部

8/27 ノースシティにて開催



校友会本部より美内会長、梅木副会長、石田幹事、兵庫県南支部の西山支部長、新潟県支部の関根幹事、大阪市支部の川上幹事、香川県支部の長田支部長を迎える。支部からは家族会員を含む17名の出席で、第8回支部総会を開催いたしました。

総会の司会は柏葉会計。浜田支部長の挨拶、美内会長からは校友会の現状等お話しいただき、梅木副会長より支部現状報告等がありました。大阪市支部からの祝電も披露され、続いて議事へ進みました。支部長より会務、会計報告がなされ拍手でもって承認されました。役員の改選では役員全員の留任が決まり総会を終了。懇親会では西山さんの乾杯の音頭ではじまり、料理に舌鼓を打ちながら交流を深めることができました。4支部の支部長には、総会を盛り上げていただき、ありがとうございます。次回も微力ながら支部間の交流を深めるため、全国支部へ総会の出席のお願いをしようと思っています。

(支部長 浜田修平)

## 香川県支部

9/4 ニューフロンティアホテルにて開催



第16回香川県支部総会を高松市の「ニューフロンティアホテル」にて開催いたしました。本部より美内会長、林田事務長のご出席を賜り、大学及び校友会の現状、子女特別入試の説明や大学祭期間中の校友会テントの様子などをお話しいただきました。

今年は女性の参加者も増え、はじめて参加される方や今年卒業された方など、今まで以上に同窓の輪が広がりました。

総会は、長田支部長のユーモアある挨拶ではじまり、役員改選では新役員に田代茂さん(S51経営)が監事に任命されました。議事は全て順調に進み、無事総会を終えました。

懇親会では、梅木副会長の友人による国分寺太鼓が飛び入り参加されました。自己紹介やじゃんけんゲームなど楽しい時間を過ごし、最後は校歌を歌ってお開きとなりました。

香川県支部は毎年9月の第1日曜日に総会を開催しております。会員の皆様のご参加をお待ちしています。

(事務局 大久保一志)

## 京都府支部

9/10 ぱ・る・るプラザ京都にて開催



第9回京都府支部総会を、まだ残暑の続く9月10日に開催いたしました。来賓は力石副会長、坂本幹事、梅原幹事、滋賀県支部の柴原支部長、兵庫県東支部の松山元支部長、兵庫県南支部の小酒副支部長、大阪市支部の石田副支部長、川上地区幹事をお迎えしました。平成16年度活動報告・会計報告のあと、第10回の節目の総会となる17年度の活動計画・予算計画を説明し、満りなく総会を終えました。

第2部では経済学部学部長・高増明教授を招いて「大学発ベンチャーの現状と可能性:OSU Digital Media Factoryの経験をふまえて」をテーマに基調講演を開催。続いて懇親会に移り、笑福亭喬若さんの落語にはじまり、豪華景品が当たる抽選会まで大いに盛り上がりました。今回の総会は60名の参加でしたが次回は新たな企画を盛り込み100名以上の参加を目指します。会員の皆様も今からご予定いただきますようお願いいたします。

(地域委員 永嶋徳美)

## 大分県支部

9/10 ホテル・パストラルにて開催



大分県支部総会は9月10日に大分県湯の町別府「ホテル・パストラル」にて開催されました。本部より美内会長、村井代議員、長崎県支部の平尾支部長、宮崎県支部の朝倉支部長のご出席のもと、一年間の活動報告と

大学祭のイベント内容について、去年の反省を踏まえながら活発な話し合いをいたしました。前回好評だった九州各県の物産、焼酎の販売と、今年は新企画として名物料理「沖縄のソーキそば」「長崎の皿うどん」で一躍、九州ブロックテントを行列のできるテントにしようと意気込んでいました。

今回の模擬店は新たに沖縄県支部の参加もあり、施設の運営のあり方も検討されました。また九州ブロックを活発にするため、熊本県支部の立ち上げなども議題に上がり、平成18年度の活動計画に盛り込む予定です。最後に、この別府バストラルは高台にあり、春は桜の名所で季節によっては趣きのある所です。一度、訪ねてみてください。（事務局 姫野一彦）

## 沖縄県支部

9/24 ゆめ舎リゾートホテルにて開催



第2回沖縄県支部総会を恩納村にある「ゆめ舎リゾートホテル」にて行いました。本部より美内会長、梅木副会長、今村幹事、長崎県支部の平尾支部長、埼玉県支部の高橋副支部長、沖縄県会員17名参加の上、無事に総会を終えることができました。

議案の内容は①事業報告、監査報告②事業計画③大学祭のイベント参加について。

また当日は、希望者のみゴルフを楽しめました。8:34スタート、2:00終了で、残暑が厳しい沖縄で皆さん日焼けをしておりました。

総会終了後は懇親会に移りました。懇親会では4家族も参加してバーベキューを楽しみ、岸先輩の計らいで、天体観測もたくさんの方が楽しまれたようです。次回はもっと多くの参加を希望します。（支部長 吉田 晋）

## 宮崎県支部

10/8 ホテルマリックスにて開催



宮崎県支部総会は10月8日に宮崎市内で開催しました。来賓者は美内会長、梅木副会長をはじめ長崎県支部の平尾支部長、大分県支部の宮野代議員、鹿児島県支部の山本副支部長と土橋監査を迎え、宮崎県支部会員8名と総会に臨みました。

美内会長の來賓挨拶のあと、総会は梅木副会長より会計資料についてアドバイスを受けながら無事終了しました。

懇親会では、今回初参加の竹平登司一さん、中島美智也さんの両名もすぐに打ち解け、学生時代のことや現在の仕事の話で盛り上がりました。

その後、二次会に移り、宮崎地鶏を食べながら来年の再会を約束しました。

最後に、校友会の目的の一つは会員相互の親睦を深めることです。今回参加できなかった方も、ぜひ次回は気軽に参加してください。

（支部長 朝倉英二）

## 大阪北河内支部

10/16 本学東部キャンパス奥にて開催



第23回大阪北河内支部総会及び懇親会を10月16日、母校大産大東部キャンパス奥で行いました。当日は「奥田食堂」さんのご厚意により総会及び懇親会の場所を一部お借りしました。ありがとうございました。

総会では会計報告、活動報告、出席者紹介を行いました。今年は役員改選の年度で、新役員が選出され、新支部長には三浦政治氏が選ばれました。これから新支部長のもと、新役員、支部会員ともに、さらなる発展に協力したいと思います。

総会終了後は懇親会に移り、本部から美内会長に御出席いただきました。大阪北河内支部得意の屋外パーティでは、カニ料理、シーフード料理、バーベキュー、タイ焼きを用意。たっぷりのご馳走を食べて、飲んで、語らい、楽しい一日を過ごしました。

大阪北河内支部では面白いことをいろいろと企画して、楽しい総会を行っています。ぜひ、支部活動に参加してください。（前支部長 津曲逸雄）

## 岡山県支部

10/29 雅城閣にて開催



第17回岡山県支部総会は10月29日にOB経営の雅城閣にて開催。本部より坂本幹事、岡山県支部顧問でもある光岡前会長をお迎えました。

総会に先立ち支部会員の家族、友人の皆様と懇親を深めるために、モンゴルより文化使節として来日中の方による伝統芸能民族楽器（馬頭琴）の演奏と、笑福亭三喬師匠に友情出演をしていただきました。師匠の巧みな話術に参加者135名全員が抱腹絶倒でした。厚く御礼申し上げます。

初参加の方も含めて大変有意義だった総会は、予定時間をオーバーするなど、名残り惜しくも次回の再会を楽しみに閉会となりました。さらに全員で二次会に繰り出し、そこでも三喬師匠の爆笑トークでさらに盛り上がりしました。まさに光岡前会長の「結束で拓く充実の種を播こう」のスローガンどおり、思い出に残る一日となりました。（支部長 芦田正之）

## 大阪中・南河内支部

10/30 サンヒル柏原にて開催



5年ぶりに、大阪柏原市にある「サンヒル柏原」において支部総会が開催されました。本部からは美内会長をはじめ、多数の方々の参加をいただき、盛大に行われました。また近隣支部との友好を深めるために呼びかけたところ、5支部からの御参加をいただきました。

総会は西垣氏の司会により、議事進行が順調に行われました。

懇親会では美内会長、村田相談役から祝辞をいただき、当支部会員でもある附属高校同窓会会长の村上末治先輩の発声のもと、歓談へと進みました。親睦の輪があちらこちらで広がり、料理もそっちのけという感じで、2時間半の時間があっと言う間に過ぎてしまいました。

今後は10月の最終日曜日に支部総会を執り行うことを報告し、散会となりました。  
(支部長 吉内秀徳)

## 埼玉県支部

11/20 東京ベイクルーズにて開催



第11回支部総会を東京湾の船上で開催しました。本部からは加門事務局長、吉田幹事を招き、本部の様子等を伺いました。総会では会計報告、監査報告、役員改選等が了承されました。また、今後の支部活動について意見を交わす中で、昨年に引き続き、支部ホームページの話題が出ました。埼玉県内に住む会員、埼玉近郊の方でホームページ制作に詳しい方はご協力ください。支部事務局まで連絡をお待ちしています。

さて今回の企画も前回同様、竹本朗さん(S53土木)のご尽力でした。新しい参加者も迎え、久々の元気が出るひとときでした。宴の半ば、お台場の夜景を堪能し、ごちそうに舌鼓を打ちながら、次回の総会は自然の中で心地よい時を過ごし、静かに自分を見つめ直す、そんな総会ができたらと思いました。またこれから新しく埼玉県支部へ来られる若い校友の皆様、ぜひ一度、総会に参加してみませんか。家族前って来てみてください。(支部長 鈴木規久男)

## 鹿児島県支部

11/19 知覧町・さくら館にて開催



第18回鹿児島県支部総会が11月19日に“薩摩の小京都”知覧のさくら館で開催されました。本部より美内会長と福井副会長をお迎えし、長崎県支部、宮崎県支部の各支部長、大阪北河内支部の折田春雄氏(S49機械Ⅱ)もかけつけてください、支部会員の出席が7名と例年より少ない中での開会となりました。

美内会長挨拶のあと、議事も原案どおり承認され、2年後の20周年を鹿児島市内で開催することを確認して閉会となりました。

懇親会では、還暦旅行の途中にプライベートで参加してくださった光岡前会長御夫妻も交え、大いに盛り上がりいました。その後の二次会は、カラオケを楽しみ、焼酎を酌み交わしました。翌日は知覧特攻遺品館の見学をして、遺品に涙し、今日の豊かさと平和の尊さを感じました。各地遠方より参加してくださった方々、本当にありがとうございました。支部会員の皆様もぜひ一度、気軽に参加してみませんか。お会いできる日を楽しみに待っています。  
(支部長 赤崎一弘)

## 福岡県支部

11/26 博多全日空ホテルにて開催



第5回福岡県支部総会を、11月26日博多全日空ホテルにて開催いたしました。本部より美内会長、林田事務長のご出席のもと、大学及び校友会の近況の報告を含め、ご挨拶をいただきました。

宮崎、長崎、大分の各支部長、また熊本県のリーダーにも出席していました。会の運営について多くのご意見を賜り、ありがとうございました。運営についての議題だけで、約1時間たっぷりの内容・討議となり、次回からの運営に充分活かしていかねばならないと思っています。

その後、懇親会、二次会と楽しく大いにしゃべり、飲食して散会となりました。

福岡県の皆さん、ご連絡ください。様々な環境下の同窓の集まりにぜひ参加してください。お待ちしております。  
(支部長 石松雅博)

## 愛媛県支部

11/26 いよてつ会館にて開催



11月26日、松山市の中心地にある「いよてつ会館」にて支部総会を開催しました。本部より梅木副会長、梅原幹事を来賓としてお招きました。梅木副会長の挨拶では校友会の新体制と大学の現状、今後の課題等を説明していました。梅原幹事からは支部推進部の立場で注意点等をご指導いただきました。

今回は役員交代を決議し、新支部長に名越弘和、事務局を佐々木弘昭の両氏を全員一致で選び、初の事務局制を導入しました。名越氏は大相撲の玉春日闇の結婚式に出席するなど、地元では有名人。今後の支部運営に期待しています。

懇親会では、出席者全員が意気投合して、松山の繁華街二番町で二次会をし、楽しく終えることができました。全国の校友会会員の皆様、長い間お世話になりました。皆様の御健勝を祈願して終わりとさせていただきます。さようなら。

(前支部長 能智正雄)

## 大阪日産モーター支部

1/15 厚生年金会館7階フロールCにて開催



第11回支部総会を厚生年金会館7階フロールCで開催いたしました。本部より美内会長、吉田支部推進部長にご参加いただきました。また、大学のキャリアセンターの皆様、今春入社のフレッシュマン、支部OBと総勢41名で懇親を深めることができました。

当日は日曜日の夜で、各店舗では業績を左右する大切な夜。「みんな揃うかな?」と心配していましたが、昼間に夜の分もちゃんと片付けて?意気揚々と参加してくれたので、ホッとしていました。このような環境下のため、議事では総会の開催曜日について議論されました。さらに3回続けて同じ場所で総会を開催していることもあり、次回の開催場所、会員にもっと楽しんでもらえるような懇親会のあり方等、多くの意見を聞かせていただきました。

休日にもかかわらず、私たちの総会にお越しくださいましたご来賓の皆様、ありがとうございました。

(事務局長 河崎祐次)

## 支部便り

### 大阪北河内支部 東部キャンパスに、桜の苗木を植樹

例年「桜の花見」のために、東部キャンパスを利用させていただいています。学内で花見をさせていただくようになった当初は若い苗木が植わっていたのに、その後、何本かが枯れてしまいました。



そこで、昨年の本部総会・懇親パーティに出店したときの売上金と支部会計より捻出した費用で、桜の木を植えようということになりました。年を取ってから花が咲くような苗木では困るので、それなりの大きさの苗木を植えました。

(大阪北河内支部 福井義員)

### 大阪市支部 第4回スキーツアーと新年会

平成18年1月14日(土)～1月15日(日)

小雨の大阪を、8時30分バスは出発。湖西道路を走り滋賀県へ。「箱館山スキー場」は、やはり雨。それでも、数人は雨の中滑りました。午後6時より、「マキノプリンスホテル」で、大阪市支部新年会を開催。美内照男会長、坂本達彦幹事に出席をいただき、総勢20名で行われ、親睦を図りました。

翌15日、うれしいことに快晴。スキーヤー5名、ボーダー10名が「国境スキー場」で楽しみました。他の方は、「敦賀気比神社初詣～越前水仙郷～日本海さかな街」観光に出発しました。



朝から最後まで頑張った、小1スキーの子供さん、初めてのボーダーは大変でしたね。リフトでのぼり、下りてくるまでも何度も転んで、無事バスに乗り着き、「さらさ温泉」で温まり、帰路につきました。さて来年は上手に滑れるかな!

(大阪市支部 石田秀雄)

大阪市支部は、上記記事のように毎年1～2月に「スキーツアー」、11月に「親子ボーリング大会」他を開催しています。大阪市支部会員以外の方も参加できますので、興味のある方は下記のホームページをご覧ください。

<http://www10.ocn.ne.jp/~osaka3u/>

### 支部総会開催予定表

支 部 名	日 時	場 所
韓国総同門会	平成18年3月25日(土) 18:00～	ホテル リヴィエラ(ソウル)
関東支部	平成18年3月26日(日) 12:30～	新高輪プリンスホテル
大阪泉州支部	平成18年5月7日(日) 11:00～	リーガロイヤルホテル堺
長崎県支部	平成18年6月10日(土) 18:00～	未定
兵庫県西支部	平成18年6月25日(日)	姫路キャッスルホテル
兵庫県東支部	平成18年7月2日(日) 12:00～	大阪第一ホテル
大阪市支部	平成18年7月2日(日) 12:00～	大阪第一ホテル
新潟県支部	平成18年7月8日(土)	長岡市(場所未定)
京都府支部	平成18年9月9日(土) 15:00～	ホテルグランヴィア京都
大阪北河内支部	平成18年9月10日(日)	滋賀県 伊吹山
宮崎県支部	平成18年10月14日(土) 18:00～	未定
大阪中南河内支部	平成18年10月29日(日) 11:30～	サンビル柏原(予定)
鹿児島県支部	平成18年11月18日(土) 18:00～	未定
沖縄県支部	平成19年2月	未定

# 私たち がんばりました

人間環境学部 文化環境学科4回生

## 岡林 真紀さんが プロのマンガ家としてデビュー

昨年プロデビューし、これまでに数本の読み切り作品を少女マンガ誌に発表。西安・上海へ3度の語学研修で感じとった異文化ギャップを盛り込んだ、恋愛をテーマにした学園ものは、「ほかにはない視点」と評価されました。



人間環境学部 文化環境学科4回生  
**岡林 真紀さん**

### ■持ち込みで注目

高校時代にマンガを描きはじめ、雑誌に投稿を重ねるようになったと言う岡林さん。大学3回生の秋からは出版社に持ち込みをするようになりました。編集者からは「これでは無理」とすぐに原稿を突き返されたことも。それでも諦めず持ち込みを続けるうちに、中高生向け少女マンガ誌の編集者の目にとまり、念願のプロデビューを果しました。

「絵の技術はまだまだ。だからストーリーをひねって、ほかの投稿者には思いつかないような素材を盛り込んで。中国で感じたちよつとした文化ギャップをあれこれ取り入れました。」

### ■いつか歴史マンガを

1ページを描き上げるのに早くても2~3時間。プロットやコマ割りを考えるなど準備の時間も必要。締め切りが1~2日と厳しくなると、3日連続で徹夜することもあるそう。

「力がついたら連載の仕事もいただきたいです。原作となってドラマ化されたり、国外で出版されたり、そんな夢がかなえればいいのですが。」

進学先を選ぶ時は、芸大と迷ったと言う岡林さん。「いろんな国の文化を学びたかったし、中国語にも興味がある。いつか歴史マンガを描くという夢もあります。それで文化環境学科にしました。」

### ■ペンネームはまだ秘密

「見込みがないと言われていましたが、根

性でやってきて、ようやくデビューできました。学校へ行かないでマンガの練習をするという道は、私は勧めません。マンガ家には絵だけでなく、いろんな体験が必要です。引きこもっていても面白いマンガは描けないでしょう。」

これまでに『Complex』『僕らの場合』などの作品を発表してきた岡林さん。連載を持つまで、ペンネームは秘密だそうです。



岡林 真紀さんの作品

### アメリカンフットボール部が 3年ぶり関西学生リーグ Dvi I 昇格決める

アメリカンフットボール部は平成17年12月10日、長居球技場で行われた関西学生リーグ Dvi I - II の入れ替え戦に出場。Dvi I 8位の龍谷大学を12対10で下し、3年ぶり Dvi I 昇格を果しました。



### 少林寺拳法部 国際大会で3位入賞 池田・青山組 国内選考会は1位

少林寺拳法部の池田篤彦（経済2回）、青山弥和枝（文化環境1回）組が10月9~10日、福井県武生市のサンドーム福井で行われた、2005年少林寺拳法国際大会 in FUKUIで世界3位に入賞しました。

### バレーボール部が 秋季リーグ戦 2季ぶりの優勝!

バレーボール部は平成17年度関西大学バレー ボール連盟男子1部秋季リーグ戦で、10月23日近畿大学と対戦し、セットカウント3対1で勝利。対戦成績を9勝0敗として、最終戦を待たずに2季ぶり2度目の優勝を決めました。

### 柔道部 全日本ジュニア柔道体重別選手権 中川 光選手 3位

柔道部の中川光選手（経営1回）は昨年9月18日、埼玉県立武道館で開催された（財）全日本柔道連盟主催の第37回全日本ジュニア柔道体重別選手権大会の100kg超級で3位入賞を果しました。

# クラブ活動 後期結果報告

## 体育会

### ■ 硬式野球部 1部リーグ2位

\*阪神大学野球秋季リーグ戦(8/26~10/31万博記念公園野球場他)に出場し、6勝5敗で勝点3となり1部リーグ2位。

### ■ バスケットボール部 近畿3位

\*近畿総合バスケットボール選手権大会(10/29~30京都府立体育会館)に出場し、3位。

\*関西学生バスケットボールリーグ(I部)(9/3~10/16なみはやドーム他)に出場し、最終成績4位で全日本インカレの出場権獲得。

\*全日本学生バスケットボール選手権大会(12/11~18代々木第2体育館他)に出場したが、1回戦で東海大と対戦し49-76で敗退。

\*関西女子学生バスケットボール3部リーグ(8/8~10/16各大学体育館)に出場し、4勝3敗で4位。

### ■ バレーボール部 関西大学選手権・準々決勝進出

\*関西バレーボール大学男子選手権大会(8/24~26山城運動公園体育館他)に出場し、準々決勝で近畿大に惜しくも1-2で敗退。

### ■ サッカーチーム 2部Aブロック5位

\*関西学生サッカーリーグ(9/4~11/26各大学グラウンド)2部Aブロックに出場し、3勝3敗3分の勝点12で5位。

### ■ ラグビー部 Aリーグ昇格ならず

\*関西大学ラグビーリーグ(9/23~12/4長居II球技場他)Bリーグに出場し、7勝2敗で2位となり、A・Bリーグ入替戦への出場権を獲得した。A・Bリーグ入替戦では、近畿大に13-64で敗退しAリーグ昇格を逃した。

### ■ 柔道部 大阪府下・大学対抗大会で準優勝

\*関西学生柔道体重別選手権大会(9/4岸和田市総合体育館)に出場した中川光(経営1回)が+100kg級でベスト8進出。全国大会出場決定戦にも勝利し全国大会出場権獲得。他の主な結果は、松井茂樹(経済4回)が66kg級でベスト16。島本大(国際4回)が81kg級でベスト16。  
\*第38回大阪府下大学対抗柔道大会(10/16講道館大阪国際柔道センター)に出場し準優勝。

### ■ バドミントン部 男子2部昇格

\*西日本学生バドミントン選手権大会(8/30~9/7熊本県立体育館他)に出場し、2回戦敗退。

\*関西学生バドミントン秋季リーグ戦(9/11~10/28各大学体育館)の男子3部リーグで5勝全勝の1位。2・3部入替戦で神学大を3-2で下し2部昇格を果たした。女子4部リーグで4勝1敗の2位。3・4部入替戦に出場したが京都大に2-3で敗退し3部昇格ならず。

### ■ 陸上競技部 関西学生年別3位

\*関西学生対校駅伝競走大会兼西日本招待予選会(9/1尼崎市記念公園陸上競技場)に出場し、2時間15分09秒72で12位。

\*西日本学生陸上競技対校選手権大会(9/16~18長居第2陸上競技場)に出場した橋拓実(都市4回)が10000m決勝で30分53秒86の16位。

\*関西学生陸上競技学年別選手権大会(10/18~21長居第2陸上競技場)に出場した車谷雅範(国際2回)がやり投げで57m84を投げ3位。1500mの三上省吾(国際2回)が4分03秒36で3位。3000mSCの沢田功介(経営1回)が9分57秒50で6位。

### ■ 空手道部 関西大会・男子団体形で優勝

\*全関西大学空手道選手権大会(10/2大阪市中央体育館)に出場し、男子団体組手でベスト8。男子団体形では決勝戦で関西大を3-2で下し見事優勝。

\*全日本大学空手道選手権大会(11/20大阪市中央体育館)に出場したが、2回戦で帝京大に1-4で敗退。

### ■ 日本拳法部 全日本団体でベスト8進出

\*全日本学生拳法個人選手権大会(10/30名古屋市枇杷島スポーツセンター)に渡邊健太郎(経済4回)、玉木良憲(都市4回)、有本真人(経済3回)、中矢雄三(文化2回)の4名が出場したが、ブロック2回戦敗退。

\*全日本学生拳法選手権大会(11/27大阪府立体育館)に出場し、ベスト8に進出した。

### ■ 剣道部 関西大会ベスト16

\*関西学生剣道優勝大会(9/19大阪市中央体育館)に出場し、ベスト16に進出した。

\*全日本学生剣道優勝大会(10/16日本武道館)に出場し、1回戦で山形大に敗退。

### ■ 硬式庭球部 3部昇格ならず

\*関西大学対抗テニスリーグ戦(9/17~10/8各大学テニスコート)に出場し、4勝1敗で4部1位。3・4部入替戦に出場したが大市大に4-5で敗退。

### ■ 弓道部 2部Aで3位

\*関西学生弓道リーグ戦(10/18~11/6各大学弓道場)に出場し、男子は2勝2敗で2部Aの3位。女子は4部Bブロックで3勝1敗。

### ■ 自動車部 全関西6位入賞

\*全日本学生ジムカーナ選手権大会(8/20~21鈴鹿サーキット)に出場し、EF-9シピック、タイム3分33秒84で15位。

\*全関西学生ジムカーナ選手権大会(9/15名阪スポーツランドEコース)に出場し、総合6位入賞。

### ■ ハンドボール部 5部昇格

\*関西学生ハンドボール秋季リーグ戦(9/3~10/15岸和田総合体育館他)6部リーグに出場し、5勝1敗で2位となり、5部昇格を果たした。

### ■ ゴルフ部 3部3位

\*関西学生男子秋季2・3部校学校対抗戦(9/15~16日野ゴルフ俱楽部)に出場し、トータル335ストローク五十嵐雄大76(38・38)(経営3回)、近藤翔太郎81(41・40)(国際3回)、松島勲92(46・46)(文化4回)、堀池孝86(46・40)(経営3回)、猪原佑貴104(55・49)(都市2回)で3部3位。

### ■ 準硬式野球部 秋季リーグ4位

\*西都六大学準硬式野球秋季リーグ戦(8/23~9/30鳴尾浜臨海公園野球場他)に出場し、6勝5敗1分で4位。

### ■ 巍桜流拳法部 全日本ベスト8

\*全日本セフティ空手道選手権大会(7/31羽曳野コロセアム)に出場した河野陽介(機械3回)と小西博基(流通1回)が一般軽量級でベスト8進出。

\*全日本大学オープン選手権大会(11/23豊中武道館ひびき)に出場した黒田英孝(国際3回)が一般の部でベスト8に進出した。

### ■ サイクリング部 鈴鹿ロードレース優勝

\*シマノ鈴鹿ロードレース(8/23~28鈴鹿サーキットランド)に出場した稻田直也(都市2回)がスーパーバイカーズ部門(4.48km:平均時速31.32m/h)で見事優勝した。他の成績は2時間エンデューロ2人部門(平均時速34.71km/h)17位:瀧義博(国際4回)・永山貴(交通2回)、国際ロード部門(58.24km:平均時速46.27km/h)40位:数元彰(都市4回)。

### ■ 卓球部 3部Bブロック5位

\*秋季関西学生卓球リーグ戦(4/29~5/8近畿大学記念会館他)3部Bブロックで、1勝4敗の5位。

### ■ ライフル射撃部 関西大会6位

\*秋季全関西学生デジタルスポーツピストル射撃選手権大会(9/7~11大阪府能勢町ライフル射撃場)に出場し、DPP60m個人:6位大場清志(都市3回)、10位植村俊昭(経済3回)。

\*秋季全関西学生ライフル射撃選手権大会(9/7~11大阪府能勢町ライフル射撃場)に出場し、10mS60団体11位:合計得点1555、濱田 匠光(機械4回)532、森下元太(経済4回)515森高健太(機械2回)508、武内清高(交通2回)517。

### ■ 洋弓部 関西新人戦で1位

\*関西学生アーチェリー新人戦(10/23京都大学黄檗グラウンド)に出場した植野由美子(経営2回)が女子30mWの部で見事1位に輝いた。他の結果は男子30mWの部:14位 稲田大輔(情報1回)、男子50m・30mラウンドの部:10位 長原貴了(電電1回)、41位 水島智之(都市1回)であった。

### ■ 男子ラクロス部 2部リーグ4位

\*関西学生ラクロスリーグ戦(8/23~11/26 服部緑地公園球技場)の2部リーグで、3勝4敗の4位。

### ■ ソフトボール同志会 3部リーグ3位

\*関西学生ソフトボール秋季リーグ戦(9/25~11/20万博公園スポーツ広場)の3部リーグに出場し、3勝2敗で3位。

## 文化会

### ■ 内燃機関研究部 全国大会でアカデミー賞

\*本田宗一郎杯 Hondaエコノパワー燃費競技全国大会(10/1~2ツインリンクもてぎ)グループIVの部:Advanced Forceφ:リタイア、Advanced Force I:11位(126チーム)、605.21km/リットル、Advanced Force I:アカデミー賞

# Information 校友会からの お知らせ

## ■新規役員

代議員 能智 正雄 (S46経営)  
代議員 津曲 逸雄 (S49交機Ⅱ)  
代議員 松山 雅夫 (S54経営)

## 支部長退任者を代議員に 会則、役員選出規定を改正

長年にわたり、支部活動の活性化にご尽力いただいた支部長経験者の方に、支部長退任後、代議員として校友会の本部活動にご参加いただけるよう、校友会則および役員選出規定を改正しました。

地域支部の支部長退任者は、支部役員の推薦・幹事会の承認により、代議員に就任していただけます。なお、これにともない、代議員の定数は、現行「100名以内」を「120名以内」にするなど、関連する会則の変更もあわせておこないました。平成17年10月29日幹事会および平成17年11月5日代議員会で議決・施行され、平成17年4月1日から適用されます。

(会則・規定の変更箇所の詳細は、以下の通り)

### 大阪産業大学校友会会則 一部改正

#### 第3章 役員

##### ○改正

第6条(役員) 本会には、次の各号に定める役員を置くものとする。

(1) 会長 1名

- (2) 副会長 8名以内  
(3) 幹事 24名以内  
(4) 代議員 120名以内

##### ○改正

第10条(任期) 役員の任期は、次の各号に定めるとおりとする。

- (1) 役員の任期は3年とする。ただし、再任を妨げない。  
(2) 次員補充によって就任した者の任期は、前任者の残りとする。  
(3) 役員は、任期満了においても、後任者が就任するまで、その職務を行わなければならない。

2 前項の定めにかかわらず、役員選出規程第2条第2項に定めるとおり、支部長を退任した者が、すぐに代議員として就任する場合は、現代議員と同様の残任期間とする。

付 則(平成17年11月5日)

(施行期日)

この会則は、平成17年11月5日に施行し、平成17年4月1日から適用する。

### 役員選出規程 一部改正

##### ○改 正

第2条(代議員選出) 代議員の選出は、会長が告示して会員より立候補者および推薦候補者を受け付け、次の各号に定める基準により、新幹事会で行う。

- (1) 代議員の区分は、卒業年度選出および地域選出とし、その人数配分については、片寄りのないようにつとめなければならない。  
(2) 地域選出の代議員は、原則として1都道府県につき1名とする。ただし、会員数の多い都道府県にあっては、複数名とすることができます。  
(3) 立候補者および推薦候補者は、3名以上の会員の賛同者を必要とする。  
(4) 任期を満了する者は、その任期中の代議員会への出席状況などにより、候補者となることができる。

2 前項の定めにかかわらず、支部長を複数年務めた後に、本部活動に貢献したいと希望する者は支部役員の推薦により、校友会新代議員候補者推薦状による申し出を行い、幹事会で承認した後に退任した日をもって代議員として就任できるものとする。ただし、この場合の支部長は、職域支部の支部長を除くものとする。

3 第2項の任期を終了した後は、第1項の定めにより取り扱うものとする。

付 則(平成17年10月29日)

(施行期日)

この規定は、平成17年10月29日に施行し、平成17年4月1日から適用する。

## 平成19年度入試(平成18年11月～平成19年3月)の詳しい内容が決まるのは5月の予定です。

詳細をご希望の方は、同封のハガキを平成18年9月30日(土)までにご返送ください。決定次第お知らせします。

### 受験適齢期の子女をお持ちの校友会会員のみなさまへ

女子には受験・入学の優遇制度があります。大いに活用をおすすめします。

参考) 平成18年度の内容は下記の通りでした。

#### 1.受験料免除

校友会長が発行した書面を願書に添付する。

※適用回数に制限はありません。

#### 2.卒業生子女特別入学試験

(1) 募集定員と結果

学部	学科	定員	受験者	合格者
人間環境学部	文化環境学科	2	0	—
	都市環境学科	2	0	—
経営学部	経営学科	5	4	4
	流通学科	5	0	—
経済学部	経済学科	3	1	1
	国際経済学科	3	1	1
工学部	機械工学科	2	1	1
	交通機械工学科	1	3	3
	都市創造工学科	2	0	—
短期大学部	電子情報通信工学科	2	1	1
短期大学部	自動車工業科	2	0	—
	合計	29	11	11

#### (2) 出願資格

次の各項に該当する者

- ① 本学への入学を特に希望する者  
② 本学の卒業生の子女(子女とは、子または兄弟姉妹)  
③ 高等学校を平成18年3月卒業見込みの者  
④ 高等学校調査書の全体評定平均値が「3.2」以上の者  
⑤ 本学専願者に限る  
※但し、工学部に於ては、上記④⑤は適用されない。

#### (3) 選考方法

工学部：英語・数学

その他の学部：小論文と面接

#### (4) 校友会からの特典

受験料(大学35,000円・短大30,000円)の還付と入学祝金(100,000円)を贈ります。

●お問い合わせは校友会事務室まで

フリーダイヤル 0120-84-3040 FAX.072-875-0398

平成18年度

## 校友会総会・ 懇親パーティ

### のご案内

#### 日時

平成18年11月12日(日)

総会/12:00~

懇親パーティ/12:30~

#### 場所

三井アーバンホテル  
大阪ベイタワー(弁天町)

#### 会費

5,000円

※平成18年3月卒業生は無料



### 記事募集のご案内

大阪産業大学校友会会報「凡友」では、卒業生の皆様からの記事を募集しています。

クラブ・サークルOB会や学生時代の仲間とOB会を開いている等、校友の皆様の活動や近況などをお知らせください。また、様々な分野で活躍している校友や旧職員の方の情報などもお知らせください。「校友の活躍ぶり見見」のコーナー等で取り上げさせていただきたいと思います。

まとまった原稿でなくても、情報などご一報いただければ、編集部で検討し、折り返しご連絡させていただきます。(ただし、情報の採否は、編集部にご一任いただきますので、ご了承ください。採用になった場合は、編集部から取材させていただく場合もあります。)

### エクステンションセンターからのお知らせ >>>

#### 梅田サテライトキャンパス拡張記念講座のご案内

##### ■電気主任技術者第3種講座

(4月16日～8月13日・土日祝 10:00～15:00)

費用:4科目受講10万円・単科目25,000円～35,000円  
(教材費2,500円別)

##### ■技術士補(建築部門)講座

(5月14日～10月1日・日曜 9:30～12:30)

費用:77,000円(教材費込み)

#### 小学校教員資格認定試験の受験対策講座

##### 大学に通わず小学校教員資格(二種免許状)が取れる!!

小学校教員資格認定試験とは?

この試験制度は、一般社会人を学校教育へ呼び込むため、大学など教員養成コース(教職課程等)を履修しなくても教員になれる道として設けられた制度です。

●本講座を受講希望の方は、4月3日までに下記までお電話でご連絡ください。  
受講希望者が少数の場合は中止にします。

★その他講座:エクステンションセンターホームページをご参照下さい。  
<http://www.osaka-sandai.ac.jp/extcnt/>  
エクステンションセンター連絡先:0120-322953

#### 梅田サテライトキャンパス 大阪駅前第3ビル19階に移転

校友会では幹事会や各部会で利用しています「梅田サテライト」が4月中旬より大阪駅前第3ビルに移転します。12日にはオープニングセレモニーも予定されており、広く・便利になった会場が利用可能となります。

#### ゴルフ大会参加者募集

(案内状希望の方は事務室へ)

恒例の親睦ゴルフ大会が本年も9月10日前後に開催予定。日時・場所など詳細は、6月初旬に決定します。参加案内状希望の方は、校友会事務室へご連絡ください。決まり次第、送付させていただきます。

### お悔やみ

以下の方々がお亡くなりになりました。  
心からご冥福をお祈りいたします。

元工学部電気電子工学科教授

安藤 慶一氏

平成17年12月16日ご逝去(享年82歳)

田中 宏氏 (S49短自)	平成12年3月3日ご逝去
溝渕 孝志氏 (S51経営)	平成14年4月12日ご逝去
壹岐 悟氏 (S45経営)	平成14年12月24日ご逝去
久野 一義氏 (S39交短自)	平成15年9月ご逝去
天川 重利氏 (S27交短運)	平成16年9月3日ご逝去
杉村 巧氏 (S43経営)	平成16年10月12日ご逝去
立山 彰氏 (S46交機Ⅱ)	平成17年3月12日ご逝去
小西 義夫氏 (S62交機Ⅱ)	平成17年6月ご逝去
米山 勇氏 (S40交短自)	平成17年8月31日ご逝去
森下 一忠氏 (S53経営)	平成17年9月16日ご逝去
中田 敬輔氏 (H5経営)	平成17年ご逝去
植田 和博氏 (S48土木)	ご逝去
西宮 一雄氏 (H12経済)	ご逝去

訂正とお詫び 平成17年10月6日発行の「凡友69号」4ページ目の「平成16年度退職者」の記事におきまして、記述に誤りがございました。

× 客員教授 竹村 民朗 → ○ 客員教授 竹村 民郎  
ご本人様を始め、関係者各位にご迷惑をおかけしましたこと、深くお詫び申し上げます。

#### 会員データ

(平成18年2月1日現在)

●卒業生数	67,318名	●物故者数	486名
●重複卒業生数	1,475名	●住所不明者数	11,691名
●会員数	65,843名	●連絡可能会員数	53,666名

#### 編集後記

凡友70号をお届けします。以前の凡友でしばしばご指摘を頂いた、「活字と写真を大きく」をモットーにリニューアルを行い、あわせて紙面数・配達方法を変更致しました。また、新たな企画として皆様方からの報告・投稿などを掲載していく予定です。記事募集の項をご覧下さい。今号に対するご意見などありましたら校友会事務室までご連絡下さい。次回の紙面に反映させていただきます。

編集部 宮井義裕